

JAXA の本間理事が資料 27-1 (ADB と JAXA の LOI) を 7 分弱で説明した後、8 分余の質疑応答があった。(前回「現状報告」で紹介があった、JAXA とアジア開発銀行との間の「アジア太平洋地域の発展途上国における衛星技術の利用促進に関する包括的な協力の枠組み(LOI:Letter of Intent)の締結に関する詳細報告。)

青江委員長代理: はい、どうも有難う御座いました。その一、例えば一つ挙げれば、バングラディッシュの水管理のプロジェクトが一個ありますと。其のプロジェクトを実施するのはバングラディッシュ、多分政府でしょうネ。

JAXA 本間: はい。

青江委員長代理: 其れはやって行くんだけれどもですネ、其れのファイナンスはアジ銀がやりますと。

JAXA 本間: そうです。

青江委員長代理: で、それど片や、JAXA がですネ、其れに対しての技術支援、人材能力開発、等の協力を片ややりますと云う事で、

JAXA 本間: はい。

青江委員長代理: バングラディッシュの水の何とか、水害監視の様なプロジェクトが、上手く行く様に、と云う風にします。

JAXA 本間: そうです。

青江委員長代理: 其処の両者の協力、所謂するんだけれども、其の両社間の取り決めをって云うか、協定を結んだと。

JAXA 本間: ええ、一種のカタイ(?)協定と言うかと思います。

青江委員長代理: と云う事をしましたと云う事ですネ。はい。と云う事で何かご質問等?

井上: 此の東京大学が果たされる役割って云うのは、今一つ良く分かんなかったんですが。

JAXA 本間: あのですね、個人名で云いますと柴崎先生です。で、エエト、元々のワークショップの処が GIS と衛星の利用・活用って事で、エエト、特に地形ですネ、GIS で、洪水とか色んなもの、あらゆるものが GIS 情報がベースになりますので、其処でエエト、東京大学の方の色々な技術ノウハウをジョイントしようと、そう云う計画であります。

青江委員長代理: あのー、此れも全く参考までに。あのーホシ(?)活動がですネ、斯う云う形で地域の色々な処、ファイナンスも含むでしょうけどネ、其の時に宇宙をフューチャした形でやる訳ですネ、今回の場合は。

JAXA 本間: そうです、はい。

青江委員長代理: そう云うものは、例えばアジア開発銀行とか、エエト、所謂南米の何とか銀行もありますヨネ、

JAXA 本間: ええ。

青江委員長代理: そう云う風なのはやってなくて、アジ銀が初めて?

JAXA 本間: いえ、エエトですネ、2 年前に世界銀行が矢張り中南米のその一、災害とか森林監視のプロジェクトを矢張りアジア開発銀行とドウニタッテ(?)おります。其の時...

青江委員長代理: 世銀とアジ銀が一緒になってジョイントで?

JAXA 本間:いえ、違います。世銀は世銀で中南米を対象にしたプロジェクトをもう 2 年前に立ちあげて、その時はええち JAXA からも衛星データを提供すると云う、そう云う取り決めを結んでおります。

青江委員長代理:其れ、個別、あの、単発プロジェクトじゃないですか。

JAXA 本間:ええ、そうです。

青江委員長代理:こう云うですネエ、地域開発銀行がですネ、宇宙と云う処に非常に着目をしてですネ、エエト、かなり其処に着目をした、一つの一種の融資をする際に、かなり宇宙のものに着目をして、重視してやるヨと云う意思表示みたいなもんじゃないですか。

JAXA 本間:はいそうです。

青江委員長代理:ネエ、あのー、だからそう云うケースは初めてですかって云う。

JAXA 本間:エエト、ええ、あのー、世界銀行の時は、資金のやり取りは JAXA と世界銀行の間に無くて、ただデータを無償で提供したんですけども、今回の様に資金を使ってプロジェクトを宇宙技術でやるって云うのは JAXA としては初めてです。

青江委員長代理:あの、今回だって、アジ銀の資金はですネ、其の資金は例えばバングラディッシュ政府に行くんでしょ?

JAXA 本間:いえ。

青江委員長代理:JAXA には来ないでしょ?

JAXA 本間:あのですね、エエト、もう一寸複雑でして、エエト、あの、プレーヤはエエト、勿論バングラディッシュ政府です。但し、其れをその、アジア開発銀行の資金で云うのは、エエト、JAXA とですね、それからアジア開発銀行がエエトまあ、ODA なんかで良くやるパターンなんですけど、エエト、コンサルタント会社を先ず作って、で、具体的に何をやるかって云うのを先ず決めます。で、エエト、今年の 12 月からやるのは、先ずその作業をとっ掛りにします。で、其処で更に具体的な計画が決まると、もっと大規模な形で次の段階に入りますが、其れはまた、其の次の段階であります。

青江委員長代理:はい。

JAXA 本間:ア、済みません。何か、質問の主旨を取り違えたかもしれませんか。

青江委員長代理:アジ銀の資金は、バングラディッシュ政府に対して供与されるんでしょう?

JAXA 本間:いえ、違います。其れはエエト、JAXA とコンサルタント会社に対して供与されます。

青江委員長代理:アジ銀てのはローン、所謂お金、金融機関ですからネ。お金を貸す訳です。

JAXA 本間:エエトですネ、今回、今回のプロジェクトって云うのは、所謂融資ではなくて、アジア開発銀行自身が持ってる基金の、アジア開発銀行のプロジェクトって形であって、融資ではありません。...で、多分、あの、仰る通り、エエト、今回は未だ、そう云う意味で云うと、まあ、フィージビリティと言うか、ステップ 1

みたいな事を、先ず、JAXA とアジア開発銀行と東京大学とで決まって、もっと本格的になる場合には、次のステップは未だ私も良く分からないんですが、通常ですと今度は融資、それこそ例えばバングラ政府が大掛かりな何かやる場合には一種 ODA 的な形で、あの、長期低金利融資って云うのがあると云う風に聞いております。

青江委員長代理: はい。だから、今は所謂あの、借款の前の段階の、まあ、

JAXA 本間: そうですネ、はい。

青江委員長代理: ムンシュ(?) 協力と云うのがありますですネ、アレをやる様なもんだと。

JAXA 本間: ええ、今回、そうですネ。

青江委員長代理: それでも、日本国政府がやる無償供与もですネ、其の供与の相手方は必ず相手国政府なんですヨネ。

JAXA 本間: アー、はい。

青江委員長代理: あのー、日本のエイドの枠組みは。

JAXA 本間: はい。

青江委員長代理: で、其処に、向う政府の下に日本のコンサルタントとかですネエ、エエト専門家がぶら下がるんですヨ、ぶら下がると言うか、エエト、やるんですヨネ。そうじゃなくて、ダイレクトに、

JAXA 本間: そうです。

青江委員長代理: あの、JAXA がやる、そのー、アジ銀から資金供与を受けて。

JAXA 本間: エエトですネエ、コンサルタントを決めるのはアジア開発銀行が決めます。それから、エエト、コンサルタントとは別に、JAXA に必要な経費はアジア開発銀行から JAXA に来ます。で、エエト、作業はエエト、コンサルタントと JAXA、東京大学の三者でやります。

青江委員長代理: ウン、ウン。……ま、何れにしましても、大変結構な。

JAXA 本間: はい。で、JAXA にとってもあの、初めての試みですので、エエト、色んな…あのー、此れはどちらかって云うと、我々の立場から見るとセンチネルアジアの発展・応用系の一つのパターンだと思ってまして、JAXA の内部にはですネ、センチネルアジアのグループの中に一種サブ・プロジェクトチームみたいなものを作って、確り対応して行きたいと思って居ります。

青江委員長代理: まああの、一寸けち臭い話をすると、資金ソースが一個増えた様なもんだ¹と。

JAXA 本間: はい、そうです。

青江委員長代理: 云う事ですヨネ。

JAXA 本間: はい。

青江委員長代理: 大変結構な事で。それではどうも有難う御座いました。(次の議題に進んだ)

¹ 話題にならなかったが、ODA には一国完結と云う不自由な条件が付いている。此れには其れが無い様で、使い易そうである。